

# 物価高騰から区民の命・ 営業 守る区政へ

第3回定例議会・決算特別委員会（9月14日～10月12日）

日本共産党

# 大田区議団 ニュース

日本共産党大田区議団

大田区蒲田5-13-14  
TEL 03-5744-1477  
FAX 03-3730-3447  
E-mail  
kugidan@jcp-ota.jp  
ご意見、ご要望をお寄せ下さい。

## 補正予算（第3次）主な内容

- ①インフルエンザ予防接種助成
  - ・高齢者は自己負担ゼロ
  - ・乳幼児等（6か月から15歳）1回あたり1000円の助成
- ②自転車用ヘルメット2000円の助成
- ③多様な他者との関わりの機会の創出事業（保護者の就労の有無に関わらず、保育所・幼稚園等で預かることができる事業）

### \*予算組み換え提案

乳幼児等インフルエンザ予防接種の助成  
委員会で1回あたり2000円へ増額  
本会議で1回あたり3000円へ増額  
(いずれも党区議団以外は反対で否決)



すがや郁恵区議

コロナ禍と物価高騰のもと  
不十分だった2022年度  
決算に反対しました

平和の問題について、4月に区長に就任した鈴木区長は、「核抑止論は核兵器廃絶の妨げになっている」と表明した松井広島市長を

訪問し懇談しましたので、同じ立場に立つことを求めましたが、「平和関連の事業をすすめる」とどめま

次にマイナ保険証について、区民の多くは現行の保険証を継続を願っているため、国へ意見を上げることや、区として対応することを求

めたところ、「マイナ保険証は、強制するものではない」としながら「区民が適切な医療を受けられるよう支援していく」と国の言いなりの答弁でした。

現在「大田区基本構想」審議会が開催されていますが、若い子育て世帯に選ばれるには、学校給食費は、来年度以降も無償、家賃助成制度実現を求めました。

介護保険事業第9期にむけて、保険料引き上げを行わず、介護サービスの充実、大森東に建設計画の特養ホームの早期着工に区として責任を持つことを求めました。

削減した結果40億円余らせ基金の総額は1300億円余になりました。コロナ禍や物価高騰で区民の暮らしが営業が大変な時にもっと支援ができたはずでは

昨年度はコロナ禍で予算が不足すると言って、区が行う事務事業の見直しを行い、「しょうがいしゃの日のつどい」の廃止や「リフト付きタクシー運行委託」の廃止や「特別介護人派遣」を年36回から18回に削減するなど区民にとって大事な事業を切捨てました。

「誰もが快適に利用できる区民施設の設備の改善」を求める質問をし、①区民施設内のWi-Fi設備の改善と拡充と有線LANの導入などインターネット環境の充実・改善、②猛暑の夏が続いている中、区施設でエアコン・冷房施設が唯一未設置になっている区民センター・文化センター体育室へエアコン・冷房の早急に設置を、③障害の有無に関わらず、誰もが安心して快適に過ごせる区民施設にするために、難聴者等が利用する磁気ループなど集団補聴システムの普及・設置を求めました。



佐藤 伸区議

2022年度決算と、  
誰もが快適に利用できる  
区民施設の設備の改善について

は、心身障害者福祉手当に所得制限を設け、保育士処遇改善費4600円削減など区民にとって大切な事業313項目約6億6千万円削減した結果40億円余らせ基金の総額は1300億円余になりました。コロナ禍や物価高騰で区民の暮らしが営業が大変な時にもっと支援ができたはずでは

決算については、田園調布水防センター、がけ等整備工事助成、重度知的障害者グループホーム新設、中高生広場新設、3小学校増築、特養ホーム新設等評価できません。しかし、財源が足りない事業を削減・縮

小し、40億円余の予算を余らせました。また、ポストコロナとして新空港線（蒲蒲線）計画推進など大規模開発を進め、公民連携で民間大企業などの利益優先の区政を進めたことは問題で認定に反対しました。

## 法律相談のご案内

区議団顧問弁護士による、法律相談です。お気軽にご利用ください。

11月16日(木) 午後1時より  
12月 7日(木) 午後1時より

場所 日本共産党大田区議団控室  
(大田区役所10階) TEL5744-1477

予約制です。前日までにお電話ください。

相談はお気軽に



村石まい子  
こども文教委員

交通政策調査特別委員  
TEL 3742-2936



すがや郁恵  
健康福祉委員

防災安全対策特別委員  
TEL 3768-5844



杉山こういち  
政調会長/まちづくり環境委員

羽田空港対策特別委員  
TEL 3730-3480



佐藤 伸  
幹事長/地域産業委員

交通政策調査特別委員  
TEL 3298-6362



清水菊美  
団長/総務財政委員

シイカモーション・グループ  
TEL 090-3342-3001

### 決算特別委員会における党議員団の質疑



村石まい子区議

### SDGs実現のために資源ごみ回収事業の拡充を

新しく始まったプラスチック資源ごみ(プラごみ)の出し方がよくわからない、シールをはがすが大変、などの声があがっています。また、ペットボトルなどの

資源ごみが、屋近くまで回収されずに風で飛ばされていくことが多いので、回収方法の改善が必要。SDGsの目標に照らして3R(リユース、リデュース、リサイクル)を含め、ごみの減量化、資源化促進は大

### 区民が使いやすい施設にするために、使用料の値上げをしないことについて

区は「受益者負担」として、公共施設の使用料を4年ごとに「見直し」という名で実質値上げを続けています。利用しなくても使用料が高すぎて利用できない区民との公平性も考えるべ

級・2級に認定されている方のみで構成されている世帯」にとどまっているので、戸別訪問収集を利用できるように制度の改善を求めました。

### 防災備蓄資機材をいつでも使用できる状態に・FM防災ラジオの活用を！



杉山こういち区議

学校防災活動拠点となる区立小・中学校等に防災備蓄倉庫や各地区に備蓄倉庫などの備蓄品などの資機材について定期的な状態点検

き。区民が気軽に利用できるように、4年ごとの値上げを中止し、公共施設の充実を求めました。

### 購入助成や修理代の助成を！

6月25日から5日連続の猛暑日となった6月29日に、区内で60歳以上の高齢者で、男女計5人の熱中症による死亡が確認されています。

来のまちづくりのための「下丸子駅周辺地区まちづくり構想」を策定しました。この構想は今後の20年を見据えたものとなっています。しかし、踏切を解消するため下丸子駅を地下か高架にするか明確になっていません。まして踏切解消を「喫緊の課題」としていません。また、1394万8000円の調査委託先は日本中で駅前開発をしている公益社団法人日本交通計画協会。東急多摩川線下丸子駅付近の鉄道立体化に伴う予備調査委託621万5000円の委託先は東急電鉄でした。

### 新空港線(蒲蒲線)について

新空港線の動画等の作成に約247万円使われているが、区民の理解は得られなかったのか、中止や見直しを求める声が増えている。トなどにも上がっているが、区は今後どのように進めるのか、については、「羽田エアポートライン株式会社(第3セクター)」と連携して鉄道事業許可取得等に向けて支援していく」と答えました。

「現行の保険証をのこしてほしい」4件の陳情は不採択となりました。第3回定例議会に多くの陳情・請願が提出されました。中でも「現行の保険証をのこしてほしい」陳情は4件でした。しかし、「顔認証システムで悪質な運用が止められる」「区民の利便性が向上する」等の意見で、不採択となりました。

### マイナ保険証の強制は事実上マイナンバーカードの取得を義務付けることになり、病気や障害がありマイナンバーカードを取得できない区民が医療にかかれなくなります。「国民皆保険制度の根幹を揺るがす事態」となりかねません。医療関係者や区民からの、「誰もが安心して医療を受けられるように」の声にこたえるべきで、党区議団は採択を求めました。

### 予算約3000万円 区議50人中 21人が海外訪問



党区議団は反対、自民・公明・維新等が賛成

- 1 セーラム市親善訪問調査  
アメリカ合衆国 セーラム市、ニューヨーク市  
12月9日～12月14日  
自民・無2名(押見、馬橋)、維新1名(鈴木ひ)、つばさ1名(須藤)、立憲1名(庄嶋)
- 2 北京市朝陽区・大連市親善訪問調査  
中華人民共和国 北京市朝陽区、大連市  
11月5日～11月9日  
自民・無6名(高瀬、鈴木た、伊佐治、えびさわ、天坂、柿島)、つばさ1名(松原元)、フォーラム1名(おぎの)、立憲2名(小川、津田)
- 3 大田区議会区政施策調査  
ベトナム ホーチミン市、ブンタウ市、フーミー市、台湾 高雄市、台南市  
11月6日～11月10日  
自民・無4名(大森、湯本、中坪、北村)、維新1名(三沢)、つばさ1名(伊藤)

防災行政無線ではゲリラ豪雨時には聞こえないのが現状です。また、停電時には、テレビ、パソコンは使えず、携帯も充電が切れてしまえば使えません。FM臨時防災放送局は文京・練馬・足立・北区に設置され、FMコミュニティー放送局を合わせれば12区が実施しており、大田区でも災害時の区民の命を守る情報伝達ツールとしてFM防災

### 危険な下丸子1・2号踏切解消



清水菊美区議

区は踏切対策を含めた将

